

れんげの^{くも}雲

酒 泉 彰 作詞
加羅古呂庵 一泉 作曲

れんげの雲^{くも}

拙作「花咲く季節に」を聴いて、友人の酒泉 彰氏が歌詞を寄せてくださいました。れんげが花咲く田園の情景が浮かぶ美しい詩です。

春のあしたに野をゆけば
紫のれんげの雲が棚引きて
里山のせせらぎに陽は光り れんげ舞う
天つ風にゆらゆらと 海のように波打ちて

れんげ田は匂いかぐわし 花ぞ嬉しき
白くれないの梅の花 彩り添えし
桜の花あでやかに 織りなして錦の様
ふるさとの春は麗しき

陽の光燦燦と
見渡せば れんげの雲棚引けり

©2021 酒泉 彰

編成は、尺八と箏×2に歌をつけています。箏を弾きながら歌ってもいいですし、大人数で演奏する場合は、別パートとしてコーラス風にしてもいいでしょう。曲の構成は、古曲風に「前歌」「手事」「後歌」にしていますが、調弦は「花雲調子」で、全体に明るい雰囲気に行ってみました。「手事」部分は、箏Ⅰと箏Ⅱが絡み合い、それに尺八も加わります。テンポが速めのほうがおもしろく聞こえると思いますが、技量に応じた速さに行っていただいてもかまいません。

梅の花は少し前に散りましたが、今は桜が満開です。近くの田んぼでは、れんげ草が一斉に咲き、風に揺れています。春が盛りを迎えようとしています。

1尺8寸管

尺八

口 ピ

箏Ⅰ

花雲調子

三 一 三 五 七 九 斗 為 巾

箏Ⅱ

花雲調子

三 一 三 五 七 九 斗 為 巾

運指、奏法については、適宜工夫していただいてください。

れんげの雲

酒泉 彰 作詞
加羅古呂庵 一泉 作曲

♩ = 76
in D

尺八
歌
箏 I
箏 II

mp

mp

A

♩ = 80

poco rit.

poco rit.

mf

は る の あ し - た に

poco rit.

mf

poco rit.

mf

の を ゆ け - ば む ら さ き の

15

尺八
歌
箏 I
箏 II

れ ん げ の く も - が た な び き

B

18

尺八
歌
箏 I
箏 II

て さ と や ま の せ せ ら き

22

尺八
歌
箏 I
箏 II

に ひ は - ひ か り れ ん げ ま

尺八 26 **C**

歌

う あまつかぜ に ゆら-ゆら

箏 I

箏 II

尺八 30 **D** $\text{♩} = 66$

歌

と -- うみの ように なみうちて *poco a poco accel.*

箏 I

箏 II

尺八 34

歌

箏 I

箏 II

尺八 39 **E** $\text{♩} = 104$

歌

箏 I

箏 II

尺八 43

歌

箏 I

箏 II

尺八 47 **F**

歌

箏 I

箏 II

尺八
歌
箏 I
箏 II

尺八
歌
箏 I
箏 II

尺八
歌
箏 I
箏 II

尺八
歌
箏 I
箏 II

尺八
歌
箏 I
箏 II

尺八
歌
箏 I
箏 II

68

尺八

歌

箏 I

箏 II

71

尺八

歌

箏 I

箏 II

mf

73

尺八

歌

箏 I

箏 II

J

76

尺八

歌

箏 I

箏 II

K

79

尺八

歌

箏 I

箏 II

L

mf

mf

83

尺八

歌

箏 I

箏 II

f

f

85 M

尺八

歌

箏 I

箏 II

mf

88 N ♩ = 80

尺八

歌

箏 I

箏 II

rit. *mf*

れんげだは

92

尺八

歌

箏 I

箏 II

においかぐわしはなぞうれしき

96

尺八

歌

箏 I

箏 II

しろくれないの うめのはな いろどりそ え し

100 O

尺八

歌

箏 I

箏 II

さくらの は な あで-やかに

104

尺八

歌

箏 I

箏 II

おりなして - - にしきのよ - う

108 **P**

尺八

歌

ふ る さ と の は る は う る わ し き

箏 I

箏 II

112 **Q** **R**

尺八

歌

mf

mf

ひのひかり

箏 I

箏 II

115

尺八

歌

さんさんと みわ-たせば れんげの

箏 I

箏 II

119

尺八

歌

く - も たなびけり *rit.*

箏 I

箏 II

rit.

rit.